

市議会だより なかま

No.193

Shigikaidayori NAKAMA
2025.2.10

<https://www.city.nakama.lg.jp>

3月 6月 9月 12月

■ 中間市議会からのお知らせ	■ 一般質問	■ 12月定例会の概要と議決結果	■ 常任委員会行政視察報告
・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・
11	8	5	2
12	10	7	4



とまと屋日高の日高和敏さんが作る「あまおう」です。実が大きく食べ応えがありながらも、大味ではなく酸味よりも甘さの強い味わいです。



大八木純生さんが作る「ロマネスコ」です。カリフラワーの一種で、味は甘味が強く、程よい歯ごたえで、塩茹でやソテーで美味しくいただけます。



■京都府城陽市

メタバースを活用した不登校対策について

城陽市では、スクールカウンセラーの導入や中学校に校内適応指導教室の設置など、多様な学びの場の選択肢を増やす施策を推進しており、令和6年度からは、不登校の児童生徒の居場所として、インターネット上の仮想空間（3Dメタバース）を活用した新たな取組を開始しています。アバターと呼ばれる自分の分身を通して様々な活動や交流を楽しむことができ、子ども達に居場所があるという安心感を与えることで、主体的に次へのステップへと踏み出すことが期待されています。誰一人取り残さない教育の実現に向けた多様な学びの場を確保する取組が推進されていました。



▲城陽市役所前

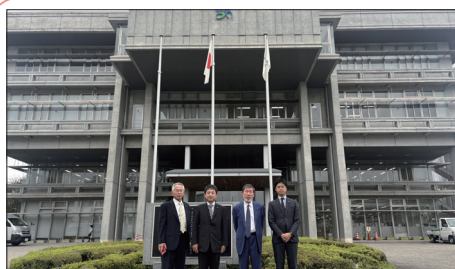


▲城陽市での行政視察の様子

■奈良県宇陀市

移住・定住（地域おこし協力隊）の取組について

宇陀市は、「食」と「農」を活性化させ、魅力あるまちづくりを目指し、全国から宇陀市への移住と起業、そして地域でチャレンジする生き方を支援するため、「食」と「農」を中心とした起業プロジェクトを立ち上げています。そのプロジェクトにおいて、国の「地域おこし協力隊」の制度を活用しており、隊員の報酬や活動費など国からの財政支援のもと、全国から起業家を公募、事業実現に向けたサポートを開始し、移住・定住につながる取組を進めています。少子高齢化による人口減少が急速に進行する中において、地域間における人口格差、地域社会の担い手不足などの課題に対して、地域移住の促進が図られていました。



▲宇陀市役所前



▲宇陀市での行政視察の様子

■大阪府大阪市

「こども本の森中之島」の施設見学

こども本の森中之島は、建築家の安藤忠雄さんが寄贈された、こどもたちに多様な本を手にとってもらい、創造力や好奇心を育ませるための文化施設です。床から天井まで本棚で埋め尽くされた館内では、こどもたちはどの場所でも座り込んで本を読むことが可能であり、こどもたちの日常生活や好奇心に寄り添い、多種多様な本と出会うことができるような工夫がなされています。デジタル化により、本離れが進む昨今、読書スペースや本の並べ方の工夫などにより、自由な雰囲気の中、こども達がわくわくしながら本に触れ合うことができ、本を読みたくするような開放的な施設づくりがなされていました。



▲こども本の森中之島前



▲こども本の森中之島の館内

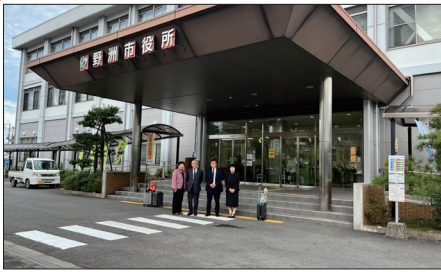
市民厚生委員会 行政視察報告

委員長 中尾 淳子（令和6年10月28日～30日）

■滋賀県野洲市

生活困窮者支援について・債権管理条例について

野洲市では、平成27年に施行された野洲市債権管理条例に基づき、生活困窮を理由に滞納している市民に対し非強制徴収公債権等の徴収停止・債権放棄の措置を講じたり、生活相談課で就労支援を行ったりして生活再建のサポートをしています。「滞納は市民からのSOSだ」という見方で、市民への積極的な働きかけを行っています。また、生活困窮者支援においては、高校受験を控えた中学生向けの学習支援事業を行うなど、困窮世帯への生活支援が行われています。部署を問わず職員同士で連携することで、生活困窮者に対する包括的な支援を実現していました。



▲野洲市役所前



▲野洲市での行政視察の様子

■滋賀県大津市

窓口開庁時間短縮の取組について

大津市では、市職員の働き方改革のため、窓口開庁時間を従来から45分短縮した9時から17時までとしています。施行前は、職員の勤務時間と同じ8時40分～17時25分が窓口開庁時間でしたが、平成29年度に窓口開庁時間を見直すべきとの議論を受け、他市への視察や市民への周知を経て、令和2年度に施行しています。また、窓口開庁時間を短縮しても市民サービスの質を維持できるように、インターネットでのFAQ掲載やオンライン申請の充実を図り、開庁時間外でも市民が困らないよう取組んでいます。さらに、市民からの電話等を受け付けるコールセンターを設置し、職員の業務負担軽減にも努めていました。



▲大津市役所前



▲大津市での行政視察の様子

■滋賀県大津市

「シニアジョブステーション滋賀」の施設見学

シニアジョブステーション滋賀は、概ね45歳以上の方を対象として、同施設内の相談コーナーでのカウンセリングを通して職業適正や能力、経験に応じた就労支援を行っています。また、隣接しているハローワークと連携を取りながら、求人に応込む前段階の適性診断や面接指導を行っています。就労相談以外にも、ストレス対策やマネープランなど幅広いジャンルでのセミナーを開催し、シニア世代へ働きかけを提供しています。施設内は、相談員が常駐されているほか、求人検索用端末も3台設置されており、支援を受けながら適職を探しやすい環境が整えられていました。



▲滋賀県大津合同庁舎前



▲大津市での行政視察の様子



■奈良県三郷町

中学校に消防団屯所を併設したまちづくりについて

三郷町では老朽化した三郷中学校建て替えに伴い、第1分団屯所と福祉避難所及び中学校を合築し、複合施設として整備しています。全国的にも教育施設に消防団屯所が併設されるのは珍しく、中学生に対する消防活動の啓発も目的としています。福祉避難所、備蓄倉庫、マンホールトイレなどを中学校に設置することにより、様々な防災機能を集約した重要な避難拠点となっています。中学校においても、消防団の様々な活動や訓練を身近に感じることや消防活動を行う団員の規範意識向上の効果を生んでおり、中学校と消防団屯所を組み合わせることで相乗効果を生む取組が推進されていました。



▲三郷中学校前



▲消防団第1分団屯所での行政視察の様子

■大阪府豊中市

災害対応ドローンの導入及びドローン隊「KITE」について

豊中市では、災害時に迅速で広範囲な情報収集や状況確認、搜索活動、人的被害や交通途絶状況確認等に効果が期待される取組として災害対応ドローンを活用した施策を推進しています。ドローンは仕様上、8キロ先まで操作可能で自動航行も可能なため、自動で火災現場の写真撮影等を行うこともできます。活動実績として、令和6年に林野火災及び中高層建物火災等に出動し、火災対応、救助搜索活動、情報収集活動に活躍しています。また、土木局と連携し、橋りょう点検や水道管などのライフライン点検にも活躍するなど災害だけでなく、今後様々な分野で活躍が期待される取組でした。



▲豊中市での行政視察の様子



▲災害対応ドローン

■大阪府八尾市

防災公園（久宝寺緑地）の施設見学について

久宝寺緑地は大阪の四大緑地の一つで、災害時には、広域避難場所及び後方支援活動の拠点となります。普段は憩いの場としての緑地公園ですが、災害時には防災公園として、芝生広場は避難場所に、軟式野球場は臨時ヘリポートに、陸上競技場は自衛隊駐屯地に、公園を囲む林は避難者を火災のふく射熱や熱気流から守るための防火樹林となります。また避難生活を支えるために大型自家発電機にて最大3日間の自家発電が可能です。生活用水は3日分貯蔵され、トイレは園内だけでなく、個室トイレとして使用できるマンホールトイレも設置されています。普段の市民の憩いの場だけでなく災害時には広域避難所にもなる複合的な機能を持った施設でした。



▲久宝寺緑地内



▲防災公園での行政視察の様子

12月定例会の概要と議決結果

12月定例会の概要と結果(11月26日～12月12日)

令和6年第4回(12月)定例会では、同意案1件、諮問1件、承認2件、議案10件、意見書案2件が提出され、11月26日から12月12日までの17日間で審議されました。12月定例会で審議された主なものについて、ご紹介します。

全会一致で同意・承認・可決した議案

- ・**同意案第4号** 固定資産評価審査委員会委員の選任について
- ・**諮問第3号** 人権擁護委員候補者の推薦について
- ・**承認第9号** 専決処分を報告し、承認を求めることについて
(令和6年度中間市一般会計補正予算(第4号))
- ・**承認第10号** 専決処分を報告し、承認を求めることについて
(中間市重度障がい者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例)
- ・**第47号議案** 令和6年度中間市一般会計補正予算(第5号)(修正部分を除く原案)
- ・**第49号議案** 令和6年度中間市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- ・**第50号議案** 令和6年度中間市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- ・**第51号議案** 中間市議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例
- ・**第52号議案** 中間市個人情報の保護に関する法律施行条例等の一部を改正する条例
- ・**第53号議案** 中間市地域包括支援センターの職員等に係る基準を定める条例の一部を改正する条例
- ・**第54号議案** 中間市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例
- ・**第56号議案** 損害賠償の額を定め、和解することについて

賛否が分かれた議案

議案 番号	議員名（議席番号順） 議案名	小	堀	田	蛙	柴	田	山	安	掛	中	阿	大	柴	下	井	議決 結果
		林	田	善	田	芳	口 澄	本	田	田	尾	部	和	田 広	川	上	
市 長 提 出 議 案																	
第 47 号議案	令和 6 年度中間市一般会計補正予算 （第 5 号）に対する修正案	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	修正可決
第 48 号議案	令和 6 年度中間市特別会計国民健康 保険事業補正予算（第 3 号）	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第 55 号議案	中間市コミュニティ広場・学校再編 検討委員会条例	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議 員 提 出 議 案																	
意見書案 第 10 号	訪問介護報酬の引上げを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	原案可決
意見書案 第 11 号	物価上昇を上回る年金額引上げと公的年金の 制度改善を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	原案可決

○ 修正可決

令和6年度中間市一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出追加額 1億900万1,000円
(歳入歳出総額 196億335万4,000円)

【原案可決された事業の一部】

新中学校施設整備実施計画策定業務委託事業

3,458万6,000円

中学校施設の整備に向け、現状における課題を洗い出し、費用やスケジュールを踏まえた現実的な配置計画案として実施計画を令和7年度にかけて策定します。



【減額修正された事業】

非常用持出袋配布業務委託事業

707万4,000円 → 140万円

災害への備えや啓発を目的として、非常用持出袋を全戸配布する費用でしたが、行政側からの一方的な全戸配布ではなく、市民のニーズを把握したうえで、より実用性が高い品物を市内6校区で1,200点作成し、配布することを求め、567万4,000円を減額修正しました。

賛 成

- ・持出袋の使い勝手の悪さなど、掛けた費用に対し効果が見合っておらず、災害対応の実態にも即していない。
- ・啓発するなら自治会を通して説明すべきである。
- ・世帯構成が異なるのに世帯に1つずつの配布は実態に即さない。
- ・市民や現場の声を反映した防災対応を行うべきである。

反 対

- ・市民の自発的・能動的防災意識を喚起するのが目的であり、持出袋の配布が一番の目的ではない。
- ・ハザードマップと一緒に配ることで防災意識を啓発することが目的であり、別々に配布すると効果が薄れてしまう。非常用持出袋は啓発品の一つに過ぎない。



○ 可 決

専決処分を報告し、承認を求めることについて
(中間市重度障がい者医療費の支給に関する条例の一部
を改正する条例)

【内容】

令和6年10月1日から中間市重度障がい者医療費の支給に関して、全ての受給者の所得制限が
撤廃されます。

○ 可 決

中間市議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費
負担に関する条例の一部を改正する条例

【内容】

公職選挙法施行令の一部を改正する政令が施行されたことに伴い、市議会議員及び市長の選挙におい
て選挙運動に使用する自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成に係る費用について、単価及び限度
額が政令で定める額と同額に引き上げられます。

○ 可 決

中間市コミュニティ広場・学校再編検討委員会条例

【内容】

コミュニティ広場の再編及び市立小中学校の再編について、専門的な知見、市民の意見等を聴取し、
適切に対応するため、中間市コミュニティ広場・学校再編検討委員会を設置します。

この委員会は、市長及び教育委員会の附属機関として、教育関係者、市内各種団体の関係者等をその
委員として委嘱することを予定しています。

人 事 紹 介 << 敬称略 >>

委 員 名	氏 名
固定資産評価審査委員会委員	坂 口 充 笑
人権擁護委員候補者	楫 山 秀 二

阿部伊知雄議員

(公明党)



一人暮らしの高齢者支援について

市内における65歳以上の一人世帯の数について伺います。

介護保険課長 世帯数は5298世帯で、全世帯の26%です。

議員 市内の介護施設数と定員数について、またその数に対する市の考えを伺います。

介護保険課長 施設数は27施設、定員数は1122名です。第9

期中間市高齢者総合保健福祉計画では、要介護者数の推移はほぼ横

ばいが続くと見込んでおり市内の施設の定員数で充足していると考えています。

議員 一人世帯の高齢者を支える福祉政策の今後の見通しについて伺います。

保健福祉部長 見守り

支援では、ひとり暮らし高齢者等見守り

ネットワークや、あんしん見守り情報

キットの配布を実施しています。また閉

じこもり予防や社会参加支援として、介

護予防の講和や運動教室、サロン活動、

買物支援も行っており、今後も施策の充実を図っていきます。

市内の駅・電停周辺歩道のバリアフリーについて

JR筑前垣生駅周辺は様々なイベントが行われているため、周辺歩道を整備し、点

字ブロックを設置してはどうでしょうか。

建設課長 歩道整備の実施を含めた安全対策を、検討していきます。

JRの踏切内に点字ブロックが設置されていない理由について伺います。

建設課長 踏切道は道路と鉄道の兼用工作物

であり、誘導表示等の設置や費用負担、工事

実施については自治体と鉄道管理者との協議

が必要なことから、整備が進まなかったと考

えられます。今後、事故防止の観点から必要

に応じ、誘導表示等の設置について鉄道事業者と協議していきま

す。

議員 鉄道事業者と市の関係部局が一体

となり、バリアフリーに向けての取組をお願いしたいと思いま



▲あんしん見守り情報キット

掛田るみ子議員

(公明党)



不登校支援について

本市の不登校児童生徒数は県や国に比べ多いのか伺います。

学校教育課長 人口千人当たりの数は小学校で

国が21・4人、県が26・8人、中間市は44・2人。

中学校では国が67・1人、県が78・9人、中間

市は136・9人です。

議員 文部科学省は不登校の出席扱いの幅を広

げる方針を示しています。中間市の現状と取

組について伺います。

学校教育課長 現状1件ですが、本市でも

をお願いします。

議員 不登校支援は本市の緊急課題とし、

本年度中に補正予算を組み進めるべきで

はないでしょうか。

市長 予算措置を含め、教育委員会と連

携していきます。

介護サービス事業者などの駐車場の確保について

職員が訪問中に駐車禁止を科せられたこ

とがあるか伺います。

介護保険課長 何度か

プ等を作成できるよう検討していきます。

ごみステーション設置場所の見直しについて

市民から、世帯数が多いため、ダストボックスの蓋が閉まらず、

カラス除けにならないことや、ボックスを二つに分けて置く場所の

確保も困難であるとの相談を受けておりま

す。ごみステーションの増設条件にも該当し

ないため、世帯を分割し、設置場所を増設す

るなど配慮すべきではないでしょうか。増設の条件緩和はどこで決

めるのでしょうか。

環境保全課長 ごみス

田口澄雄議員

(日本共産党)



学校給食費の無償化について

前回の議会で市長は特化した対象の施策にふるさと納税は活用しないとの答弁でしたが、特化していないものとは何か伺います。

市長

地方自治体の予算は、全てが各事業に対し、特化したものです。議員 市長の在任中は公約を実施しないというのでしょうか。

市長

令和2年度に小中学校給食補助事業、給食食材補助事業、3年度に学校給食費支援事業、4年度に学校給食費物価高騰対策事業を実施しており、財政負担の許す範囲で実現に向けて試行錯誤しています。議員 財政的困難を理由にされているが、100億円近いお金

護サービスの利用控えが要因と考えております。

議員

介護報酬の引き下げにより、全国で倒産や廃業する事業者が増加しているが、中間市はどうでしょうか。

介護保険課長

市内では4月以降に廃止となった訪問介護事業所はありません。

議員

基金を介護報酬の引き下げに対する補助金等の対応に使用してはどうでしょうか。

介護保険課長

介護給付費準備基金積立金の用途は保険料への充当に限定されており、流用はできません。

議員

介護保険の利用料には減免制度がありません。減免制度を作つてはどうでしょうか。

保健福祉部長

新たな減免制度は介護保険料の引き上げにつながるため国の動向を注視し取り組んでいきます。

柴田芳信議員

(日本共産党)



本市における小中学校の問題について

市内の小中学校の不登校問題の状況について伺います。

学校教育課長

小学校で35名、中学校で58名です。要因は無気力・不安によるものが多く、生活リズムの乱れ、親子関係、友人関係など学校だけの解決が困難なケースも増えています。

議員

不登校児童生徒に対する対策について伺います。

学校教育課長

保健室など別室への登校や放課後登校の場の提供を行っており、今後はオンライン上で生徒が交流する機会を設けるなど端末を活用した支援の充実に努めていきます。

議員

臨時教育委員会では、再編後の学校が

明会等を開催することを要望いたします。

中間市地球温暖化対策実行計画について

太陽光発電導入の補助制度について、個人や企業への導入、計画について伺います。

環境上下水道部長

補助制度は中間市地球温暖化対策実行計画において検討することを明記しており、今後、国や県などから活用できる補助制度を調査し検討していきます。

議員

公用車の電気自動車化について導入計画を伺います。

公共施設管理課長

市役所本庁舎の太陽光発電設備の設置は、老朽化等の理由から困難であり、今後太陽光発電設備がある施設を所管する部署において、公用車を新規購入する際には導入の可能性を検討していく必要性があると考えています。

議員

令和4年の住民説明会では教育長、市長が不参加の中で開催されており、地域住民の皆さんに丁寧に説明をすべきだと考えます。教育の場を決める大切な問題であるため、中学校レベルでの住民説

小林信一議員

(中間クラブ)



学校再編の進捗状況について

について

総合教育会議において市長から提案された新中学校2校について教育委員会のお考えを伺います。

教育長 全体的なまちづくりを踏まえた市の方針を重く受け止めています。教育的視点に加え、地域振興やまちづくりの視点、市有財産の有効活用の視点等から検討された市の方針に基づき教育委員会会議の中で協議・決定していきます。

徒が充実した学校生活を送るための環境構築についてご意見をいただく予定としております。

児童生徒の学力の実態について

令和4年、5年、6年の全国学力・学習状況調査における、中間市の学力状況について全国、福岡との対比も含めて伺います。

学校教育課長 小学6年生においては、令和4年度は全国平均を若干下回り、5年度は全国平均を上回り、6年度は全国平均とほぼ同程度でした。中学3年生においては、4年度、5年度は全国平均を下回りましたが、6年度には全国平均に近づきました。

議員 中間市コミュニティ広場・学校再編検討委員会は中学校再編にどう関係する機関なのでしょう。か。

議員 委員会では敷地内外の整備手法について諮問し、生

把握しているか伺います。

学校教育課長 小・中学校共に全国や県と比較して、学力低位層の割合が多いことが大きな課題です。また質問紙の調査から、1日当たりのSNSや動画視聴の割合が全国平均を大きく上回っていることがわかっており、家庭と連携した家庭学習の充実と習慣化を図る取組が必要です。

議員 子どもの貧困や家庭の経済格差に対する教育委員会の対策について伺います。

学校教育課長 習熟度に応じた少人数指導やティーム・ティーチングを通じて個に応じた細かな指導を行っています。

議員 こども達の為に、教育委員会と市長部局が連携し、予算編成及び施策の充実を行うようお願いします。

安田明美議員

(福祉クラブ)



公共施設等のトイレの洋式化について

和式トイレがある施設において洋式化を進める考えはあるのか伺います。

公共施設管理課長 市役所庁舎の老朽化に伴う改修工事にあわせ、実施したいと考えております。

生涯学習課長 なかまハーモニーホールにおいて洋式化の必要性は十分認識しておりますので、トイレの適正配置について検討していきます。

総合会館長 ハピネスなかまは、和式トイレ利用者もおられるため、利用者目線の意見を集約し、検討していきます。

議員 時代の変化に並び、洋式トイレの設置率を上げていただ

くことは、公の施設の設置者としての責務ではないでしょうか。衛生面から和式トイレを望む声がある旨のご回答もありましたが、その認識がありながら、コロナ禍における補助金を活用せず、洋式トイレの便座を消毒するためのデイスペンサーが全く設置されていないのも事実です。洋式トイレの必要性や重要性を感じているのであれば、早い時期の改修を行っていただきたいと思っています。

世界遺産遠賀川水源地ポンプ室の観光施策について

今後取り組む施策について伺います。

議員 財政面で負担があることはわかりますが、前向きな検討を再度お願いします。

ポンプ室場内や当時の資料を限定公開するイベントやライトアップなども計画しており、現在実現のため日本製鐵株式会社様と協議を重ねています。

議員 ポンプ室横の土地を市が借り上げや、買い上げることで、世界遺産のインフォメーションセンターをより近い場所にし、その中で映像の視聴や休憩室、簡単な土産などを販売できる建物建設することはできないでしょうか。

市長 インフォメーションセンターの問題は、総合的に判断して、現在の形をとっております。今は、現在の状態で、観光誘致に努めたいと考えております。

議員 財政面で負担があることはわかりますが、前向きな検討を再度お願いします。

「予算決算に係る審査等のあり方に関する諮問書」が提出されました

議長から議会運営委員会に対し、予算決算委員会の設置及び常任委員会の見直しについて、調査・検討を行うことを求める諮問書が提出されました。



▲中野 勝寛 議長

▲柴田 広辞 議会運営委員長

【諮問事項】

予算決算委員会の設置及び常任委員会の見直しについて

【内容】

予算・決算に係る審査について、議案一体の原則に則り、より全体的、専門的に審査を行うため、予算決算委員会の設置及び常任委員会の見直しを検討すること。

議会運営委員会行政視察報告 委員長 柴田広辞（令和 7 年 1 月 14 日）

■茨城県取手市 ペーパーレス化に伴うタブレット端末の運用について

取手市では、議会タブレット導入後の令和 2 年 1 2 月定例会以降は、議案書、予算・決算書、予算説明書、決算報告書をはじめ資料等の紙による配布を廃止し、データのみでの定例会運営が実施されていました。その結果、紙資料の削減、議案書印刷・とじ込みや配布に係る人件費等のコストが削減されるとともに、データの集約化、検索性、アーカイブ化、省スペース化が可能となり、時間（いつでも）と空間（どこでも）の障壁の完全カットが図られていました。



▲取手市議会議場

市議会の情報を発信



本会議・委員会のライブ・録画映像は YouTube で配信しています。

以下の QR コード以外にも、中間市議会の HP のバナーからご覧いただけます。



本会議 録画配信
QR コード



委員会 録画配信
QR コード

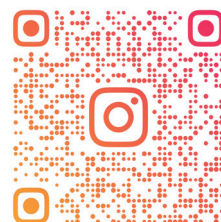
Follow Me! /



Instagram

定例会の開催情報や日々の議会の活動内容を随時発信しています。

是非、アカウントをフォローしてチェックしてください。



NAKASHIGIKAI

nakamashigikai

検索

《中間市議会からのお知らせ》

「あなたの知らない^{こと}箏の世界」が中間市議場にて開催されました。



(公財) 中間市文化振興財団が(一社) 地域創造の助成を受けて、令和6年度公共ホール邦楽活性化事業の一環として、令和6年12月20日に中間市議会議場にて和楽器(箏・^{こと}笙)の体験事業が開催されました。

当日は「あなたの知らない^{こと}箏の世界」として、^{こと}笙と^{しやう}笙の演奏会と小学生向けのアウトリーチ・プログラムが開催されました。

▼(左下)^{こと}箏演奏者 ^{もり}森 ^{あずさ}梓紗さん
(右下)^{しやう}笙演奏者 ^{ひがし}東田 ^だはる奈さん



次の定例会は、3月4日(火)から開催する予定です。

議員の一般質問は3月6日(木)午前10時から行う予定です。

本会議及び委員会の日程は決まり次第、中間市のホームページに掲載します。



次の定例会 問合先：議会事務局 ☎246-6220

会期日程 QR コード

公共施設での議会の生中継について

ハピネスなかま、なかまハーモニーホール及び地域交流センターにて、議会の生中継を行っています。議会開催日が休館日の施設では、中継は行いませんので、ご注意ください。

ハチケングループ



有限会社 八幡建設



株式会社 九商

飲食部 ・うどん処 ひら田
・らー麺工房 ひら田家
・鉄板焼 ひら田



藤木建設株式会社

- ◆土木建築工事業 ◆下水道更生管工事業 (SPR工法)
- ◆管・水道施設工事業 ◆とび・土木工事業 ◆舗装工事業
- ◆土壌改良及び地下環境保全 (リテラ工法)

〒809-0030 中間市中央1丁目9番30号1階
TEL 093-246-2355 FAX 093-246-0158



ISO 9001:2015
03338-01
ISO 14001:2015
09631-01